

# 福島第一原子力発電所 5号機プラントパラメータの緊急時対策支援システムへのデータ伝送再開について

< 参考資料 >  
 2021年2月26日  
 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー

## 【概要】

- 福島第一原子力発電所においては、震災前、国（当時原子力安全・保安院）の緊急時対策支援システム（以下「ERSS」）へ、各号機のプラントパラメータや、発電所構内における風向・風速や敷地境界におけるモニタリングポスト指示値等の環境データ等を伝送していましたが、地震・津波や事故に伴う伝送設備の故障等の影響により、震災以降、データ伝送を停止していました。
- これまで、ERSSへのデータ伝送再開に向け、伝送設備の復旧作業を進めており、本日（2月26日）5号機において伝送設備の復旧作業が完了したことから、午後0時00分、5号機プラントパラメータのERSSへのデータ伝送を再開しました。
- 引き続き、1～4号機においてもERSSへのデータ伝送再開に向けた検討等を進めてまいります。

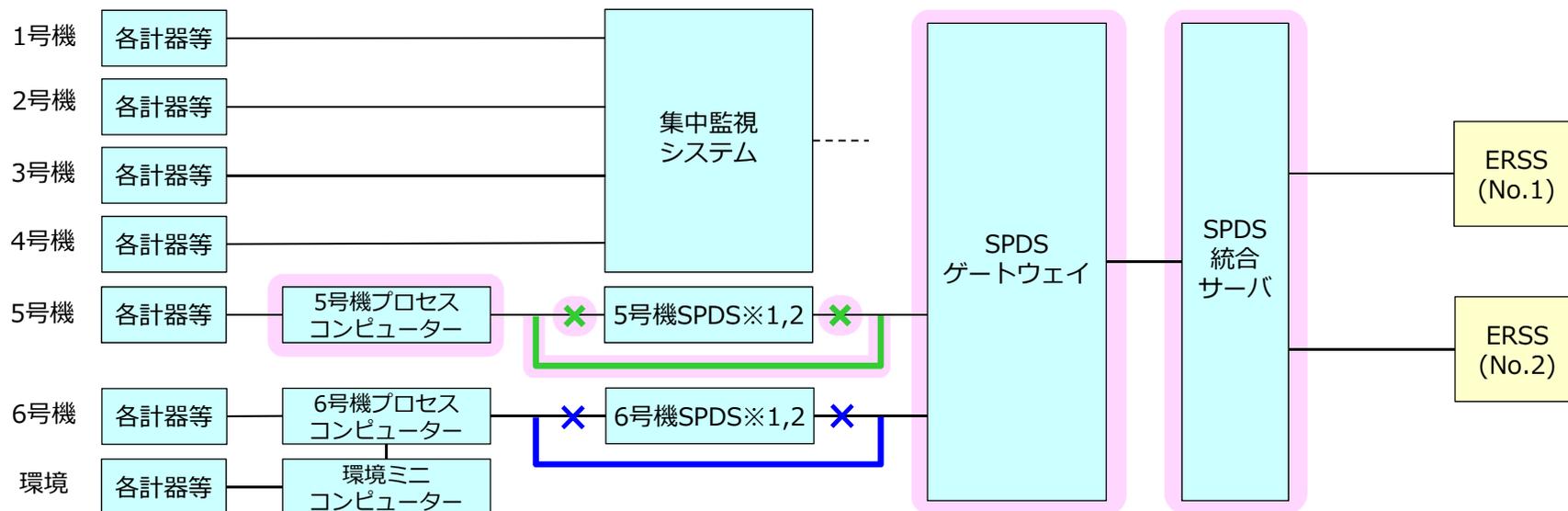


図. ERSS伝送における系統イメージ

【凡例】       ✕ : 今回の復旧作業の範囲       ✕ : 2018年12月13日復旧作業が完了,同年12月18日にデータ伝送を再開

※1:SPDS(Safety Parameter Display System):原子炉安全状態監視装置  
 ※2:震災以降,地震・津波や事故に伴う伝送設備の故障,電源停止等の影響により停止